



御館中通信

郡山市立御館中学校 学校だより No.23

令和5年7月20日 発行責任者 校長 芳賀 実

<教育目標> 「夢」

<重点目標> 「夢を持ち、その実現のために根気強く学び合い、支え合い、磨き合う生徒の育成」

1学期72日間が無事終了

20日(木)の4時間目に音楽室で、1学期の終業式と生徒集会を行いました。生徒集会では各学年代表が「1学期の反省と夏休みの抱負」を発表しました。

いよいよ明日から8月24日まで35日間の夏季休業日になります。『健康と安全第一』で充実した夏休みにしてほしいと思います。

保護者・地域の皆さまには環境整備、中体連大会等の応援、各種活動へのご協力をいただきありがとうございました。2学期もよろしくお願いたします。



1学期終業式校長式辞より

御館の里の学び舎も夏真っ盛り、梅雨明けが待ち遠しく感じられますが、連日猛暑が続いています。

72日間の1学期が今日で終了しますが、まず最初にお話ししたいことは、皆さん一人ひとりに感謝ということです。

一つ目は、大きな事故や事件、けが等がなく無事終業式を迎えられたことに感謝。もう一つは1学期中、多くの来校者がありました。皆さんのさわやかなあいさつはもちろん、落ち着いた授業態度、ノーチャイムでの生活や無言清掃など、当たり前な事を当たり前でできる姿に対して、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。昇降口に掲示されている「御館中学校の明るく、礼儀正しく、落ち着いた校風は、生徒一人ひとりの心がけによって受け継がれてきました」を、これからも大切にしていきたいと思います。

そして、今改めて目の前にいる皆さんの姿を見てみると、これまでの3ヶ月半で一人一人が心身共に成長していることを感じます。

特に3年生は部活動や生徒会活動等で常に御館中をリードし、各種大会でも最後まであきらめない姿を見せていました。また、関西方面への修学旅行は、中学校生活の中で、思い出に残る行事の1つになったのではないかと思います。

2年生は、いつも明るく学校生活を送っている姿が素敵です。また、様々な場面で頼もしく感じられるようになってきました。部活動も2年生が中心になりました。2学期からの益々の活躍を期待しています。

1年生はすっかり中学生らしくなり、それぞれが自分の良さを見つけ、元気に中学校生活を送っていました。中学校の3年間はあっという間です。目標をしっかり持ってさらに自分を高めてください。

この後、各学級で通知票が配付されます。担任の先生からのコメントをよく読んで、自分自身の成長を振り返るとともに、学習面や生活面で反省すべきところはしっかり反省して、夏休みを迎えてください。

さて、明日からの夏休みのキーワードは、「自分で作る夏休み」です。

皆さんは中学生です。自分で考え、自分で判断し、自分で実行できる力をもっています。35日間もある夏休みをただただと過ごし、回りからいろいろ言われて嫌々するというのではもったいないと思います。ぜひ自分で新たなことに挑戦したり、自分の興味関心があることに熱中して取り組んだり、人との関わりを広げたりと、自分で作る夏休みにしてほしいと思います。

最後に、七夕の願い事に「世界が平和になりますように」と書いた人がいました。ロシアとウクライナの戦争が続いています。日本では、太平洋戦争の終戦から78年目を迎えます。8月6日が広島原爆の日、8月9日が長崎原爆の日です。2年生の滝田梨乃さんが郡山市のナガサキ派遣団として長崎市に行く予定です。そして、8月15日は終戦記念日です。夏休みは、平和の尊さ、ありがたさなどについても考える機会にしてほしいと思います。

8月25日が2学期始業式です。一回り大きく成長している皆さんに会えることを楽しみにし、式辞といたします。



校舎北側に咲くヤマユリ